



2022年10月17日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーション センター

“グリーン モビリティを目指す”： AUDI AG CEO マルクス ドゥスマン、今、起きている変化について語る

(ドイツ本国発表資料) 2022年10月13日、インゴルシュタット / パッサウ：AUDI AG CEO マルクス ドゥスマンは、バイエルン メディア グループ主催のイベントで、持続可能なモビリティのビジョンと現在の課題について議論しました。カルステン シュポア (ルフトハンザ) とジョー・ケーザー (ジーマス エナジー) とともに、ドゥスマンはモデレーターのカポール シュタイガルトから質問を受けました。以下は、AUDI AG CEO からの重要なステートメントです。

エネルギーの変遷について...

- ・「世界的な状況は、産業と社会全体が計画よりもさらに速く化石燃料から離れる必要性を強く示しています。再生可能エネルギーの拡大とe-モビリティへの移行は、電気を主体とする社会への道のりへの主要なステップです。」
- ・「私たちの世代の仕事は、将来の世代が化石燃料に依存することのない世界をすることです。この目標を達成するためには、今すぐ、技術的イノベーションが必要です。」

e-モビリティについて...

- ・「輸送におけるe-モビリティ、航空におけるe-フューエル、あるいはトラック輸送における水素など、明確な技術の優先順位を設定する必要があります。つまり、各セクターが全体でカーボンニュートラルを達成するために、どのような技術を活用するかについて、業界間の横断的な理解が必要です。」
- ・「電気自動車は、生産がエネルギー集約型のために、多くの二酸化炭素を排出します。そこで、製品のライフサイクル全体にわたって、炭素排出量の削減に注力しています。例えば、ネットゼロ生産やバッテリー生産におけるグリーンエネルギーの使用です。つまり、再生可能エネルギーの利用可能性は、グリーンe-モビリティにおいて極めて重要な要素です。」

ビジネス拠点としてのドイツの役割について...

- ・「私たちの強さは、ドイツで技術を構築してだけでなく、ここで技術開発を行なっているからです。特に「メイド イン ジャーマニー」の持続可能な技術により、私たちがパイオニアかつ、国際レベルで経済力を主張することを可能にしています。」
- ・「もちろん、私たちはドイツの拠点で生産を続けます。それは明確なコミットメントです。」

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。